# 昭和大学歯科病院だより 2008. 10月号

2008.10.15.発行



発行責任者 病院長 岡野友宏編集責任者 広報委員長 髙橋浩二〒145-8515 東京都大田区北千東2-1-1 TEL 03-3787-1151 ホームページ:http://www.senzoku.showa-u.ac.jp/

#### こころの病気とからだの病気

## 総合内科・科長 井上 紳

歯科病院に総合内科が開設され3年半が経ちました。総合診療を旨としておりますのでさまざまな疾患に対応させていただいています。高血圧や高脂血症などいわゆる成人病を中心に診療をおこなっておりますが、診療の内容で多くを占めるものにストレスが影響していると思われるさまざまな病気があります。身体の状況と精神面にかかるプレッシャーは複雑に影響しあうため、患者さんのお話しをじつくり聞いて総合的に診療することが大切です。ストレスによって生じるさまざまな病態について考えてみましょう。

ストレスによって生じる心身の異常について、我が国では「心因性疾患」として扱います。専門は心療内科ですが一般内科医が担当するケースがほとんどと思われます。ちなみに精神疾患は我が国の伝統的に従うと内因性(現時点で原因不明の精神疾患)、外因性(身体の病気に起因する疾患)、心因性(ストレスによって生じる疾患)に分けられます。内因性疾患には「統合失調症」や「そううつ病」があり精神科の先生が担当します。外因性疾患の代表は動脈硬化に寄って生じる認知症やアルツハイマー病があり神経内科が専門です。

ストレスによって症状が悪化する心因性の病気はざっと次の4つに分けられます。ただし、実際にはかかりやすい素質や体質も想定されています。

1)神経症 - 不安神経症や強迫神経症が代表です。身体症状はないものの、何度も鍵をかけたか確かめたりするなど、「行動」に異常がみられます。

2)心身症 - 気管支喘息、アトピー性皮膚

炎、ストレス胃炎や過敏性腸症候群、メニエール病、頭痛など、「からだの病気」を発症したり、症状が悪化するものです。専門は心療内科ですがほとんどの患者さんは一般の内科や皮膚科、耳鼻科など身体各科を受診します。



3)自律神経失調症 - 起立性障害(低血圧) や過換気症候群、一過性高血圧や不整脈などからだの「自立神経機能の異常」を示すものです。 一般の内科を受診されるケースが多い病気です。

4) 身体表現性障害 - 痛みやしびれなど、さまざまな症状が長期間続きます。「からだの症状」が病像の中心なので患者さんは内科や整形外科などを受診されます。

これらの症状をやわらげるには抗うつ剤や抗不 安剤が有効であるとされています。総合内科では からだの異常について昭和大学病院と連携してさ まざまな検査を行いますが、ストレスが影響してい ると考えられる場合は一般内科医でも処方可能な 抗うつ剤や抗不安剤により症状の経過を拝見して おります。また、状況に応じて昭和大学東病院の 神経内科や精神神経科を紹介させていただきま す。長期間つづく原因のわからない症状につきま してはお気軽にご相談下さい。

なお総合内科は医師2名で診療を行っておりますが講義・学会等で休診の場合がございます。受診につきましてはなるべく事前にご予約くださいますようお願い申し上げます。

### 中央検査室 紹介

地下2階にある中央検査室では、臨床検査技師2名が検査を担当しており、主に外来患者様の術前検査やフォローアップの為の採血その他を一日あたり平均20~30人位行っています。

検査依頼伝票の医師のサインや項目を確認後、検査目的に合った試験管に採血し、遠心分離等の処理をします。院内 検査用と外注検査用それぞれに応じた処理をしなければならず外注検体搬送時間前後(11時及び16時以降)は多少慌 ただしくなります。



細菌培養検査や生化学検査、特殊検査は外注していますが、院内では至急性の高い血算(血液中の白血球や赤血球数、血小板数等)、血液像、出血時間、CRP定量(炎症の指標になるタンパク質)、尿定性、尿沈査の他、心電図(12誘導、マスター負荷、ホルター)、呼吸機能(肺活量、フローボリューム)、血液型(ABO式、Rh式)、クロスマッチ、病理検査を行っています。術中の迅速病理組織検査の検体が届くと、瞬時に凍らせ直ちに病理医が診断する標本を作製します。この診断結果で術中の切除範囲変更を判断されるので、いつもは和やかな検査室も一気に緊迫した空気に包まれます。

この他針刺し事故時の感染症スクリーニング、治験や研究用の検体採取や一時保管、

検査結果の問い合わせ対応等細々とした業務に少人数で対応している為、一時的に色々な依頼が集中してしまった時は 患者様をお待たせしてしまうこともあり大変申し訳なく思います。出来る限り患者様に気持ちよく検査を受けていただける様 に日々努力していきたいと思います。

また検査に関してわからない事など何かありましたら、いつでも気軽に声を掛けて下さい。

(中央検査室 増田 恵美)



#### 薬局 紹介

以前の病院薬剤師の主要な業務は「処方せん調剤」が主要な業務でしたが、近年、病院薬剤師の仕事は、多岐に渡り変化しています。その中でも主要となるのが、「薬剤管理指導業務(病棟業務)」です。患者様に安全かつ適正な薬物療法が行われるよう、歯科医師への薬剤情報の提供・歯科医師への処方に関する助言・病棟カンファレンスへの参加・回診への参加・医薬品の鑑別と管理・薬歴管理等を行っています。

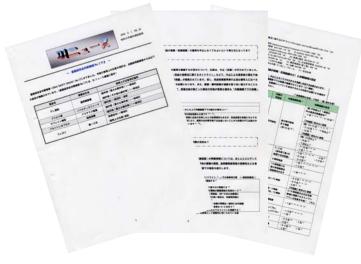
臨床試験支援室としての業務は、治験に関する業務全般を担い、治験受託説明に始まり契約、モニタリング業務、終了手続き、治験書類の保管等に渡っています。

臨床試験審査委員会(IRB)事務局業務は、ヒヤリング、IRB議題の作成、IRBでの議事説明、記録、必須文書保管を行なっています。また、薬剤師治験コーディネーター(CRC)として被験者への同意説明、症例報告書の記載補助、原資料チェック等を行い、治験業務を支援しています。

医薬品情報(DI)業務は、医薬品に関する情報を提供する重要な業務で、昭和大学歯科病院常用医薬品集の編纂を行い、編纂にあたっては歯科病院という特色から薬剤の歯科適応を重視し、特に第4版では「歯科汎用医薬品相互作用一覧」を作成し見やすいように工夫を重ねました。定期的にDIニュースの作成、医薬品安全対策情報(DSU)及び緊急安全性情報の配布・伝達を行っています。DIニュースは、最新の薬剤情報と共に、薬剤に関する特集を組むなどしていますのでご一読下さい。

病院薬剤師の業務を一部紹介しましたが、医薬品の管理、情報提供、調剤、学生教育に十分留意し、努力していきたいと考えています。

(薬局長 岡田 道子)





ミドリニリンソウ

#### お知らせ

健口フェスティバル開催の趣旨について

11月8日の「いい歯」の日に因み、病院及び職員の協力の下、公開講座・院内コンサート・健口体操・技工体験・健康相談等を通じて地域とのふれあいを深めるため、フェスティバルを開催することとしました。

(事務長 荒木田 和生)



平成20年11月8日(土)12:00から 昭和大学歯科病院

東急目黒線 洗足駅より徒歩3分

#### 昭和大学歯科病院女子自衛消防隊奮戰記

当院では9月頃に田園調布消防署主催で行われる「自衛消防訓練審査会」に毎年参加しています。昨年は諸事情により棄権となりましたが、今年は昨年度選出の最強メンバー?で9月5日(金)非常に暑い気温の中午前9時より優勝!を目指し出場いたしました。

自衛消防隊は女性3名で編成され、消防署員による数回の訓練を経て審査会は決行されました。訓練当初は少々戸惑いもありましたが訓練最後は非常に頼もしく優勝を確信しておりましたが、惜しくも優勝は逃しました。

しかしながら、隊長:補綴科の金重先生·1番隊員:全身管理室衛生士の渡部さん·2番隊員:医事課の中村さん本当にお疲れ様でした。

(管理課 中村 直記)





## ご意見・ご要望について

みなさまからお寄せいただいた貴重なご意見・ご要望は、病院長および関連部署へ報告しております。改善すべき点や取り入れたほうが良いこと等できる限り対応したいと考えております。今後もお気づきの点やご要望をお聞かせください。

10時予約であったが10時40分になっても呼出がなかった。

また、受付に問い合わせても 説明がなく所用のためやむを得 ず診療を受けずに帰宅したとの ご指摘を受けました。 担当科より「患者さんの治療が長引いたため本当にご迷惑をおかけいたしました」とのお詫びと共に「お待ちしていただく場合が生じた時にはどの程度かかるのかきちんと説明するよう今回の担当医だけでなく全員に徹底いたします」との回答がございました。

病院としてもこのようなことがないよう指導いたします。

今後もお気づきのことがございましたらご指摘下さいますようお願いいたします。

#### 編集後記

ようやく秋の清清しい涼しさが訪れ、食欲の秋、味覚の秋の本格シーズンを迎えました。 食欲の秋、味覚の秋を十分堪能するには、まずお口の健康を維持、回復することが必要 です。昭和大学歯科病院では乳児からご高齢者まで食べる機能、お口の健康を守るプロ フェッショナルが揃っています。どうぞお気軽にお問い合わせ下さい。

また11月8日の健口フェスティバルへも奮ってご参加下さい。 スタッフー同お待ちしております。



松本城 にて

ΚT